

松本市地域づくり推進交付金実績報告書

令和 8年 3月 31日

(あて先)松本市長

(申請者) 城東地区まちづくり協議会

1 交付決定額

I	金 600,000円
---	------------

2 本年度実績の報告

(1) 本年度の交付金事業の報告

① 事業名: 防災備品整備事業				
実施主体	城東地区まちづくり協議会・城東地区防災部会			
実施日(期間)	令和7年7月1日 ~ 令和8年3月31日			
実施場所	城東地区内			
事業概要	災害時対応用品について、災害時の拠点となる福祉ひろばの防災倉庫へ配備を行うにあたっての事業費支援を行った。			
地域づくりの成果・効果	地域住民の災害に対する不安について、災害対応用品の充実を図ることで安全・安心に寄与することができた。			
課題	避難所運営や安否確認等の防災訓練の継続的な実施と、防災備品や備蓄食料等の継続的な充実に向けて、体制の整備と予算の拡充が必要と考えられる。			
決算額	a+b+c	財 源 内 訳		
		a	b	c
	86,004円	86,004円	円	円

a : 本年度の交付金額のうち、この事業に充当した額

b : 前年度の交付金の繰越額のうち、この事業に充当した額

c : この事業に充当したその他の財源の額

② 事業名: 城東地区ふれあいまつり開催事業				
実施主体	城東地区まちづくり協議会、城東地区ふれあいまつり実行委員会			
実施日(期間)	令和7年8月24日(日)、令和7年12月5日(金)			
実施場所	城東地区福祉ひろば・元町児童遊園・女鳥羽川緑地帯			
事業概要	地区住民同士の交流活性化に向けて、地区の行事として「城東地区納涼祭ふれあいまつり」、城東地区福祉ひろばの開館30年を記念した「城東地区福祉ひろば30周年記念ふれあいまつり」を開催した。			
地域づくりの成果・効果	「城東地区納涼祭ふれあいまつり」は女鳥羽川緑地や福祉ひろば、児童遊園を会場に開催し、世代や町会の垣根を超えた関係づくりを進めるとともに、有事に強いまちづくりに寄与することができた。(参加者数 294名)			

	また、「城東地区福祉ひろば30周年記念ふれあいまつり」では、福祉ひろばを会場に長年、地域を支えてこられた方々が多数交流する場となった。(参加者:97名)			
課 題	地区全体として取り組む年1回の事業として、特定の役員に負担が集まる傾向が見られるため、役割分担など開催に向けた推進の手法、取組みが必要と思われる。			
決 算 額	a+b+c	財 源 内 訳		
		a	b	c
	241,259円	241,259円	円	円

③ 事業名： 城東地区まちづくり協議会運営事業				
実 施 主 体	城東地区まちづくり協議会、城東地区町会連合会			
実施日(期間)	令和7年7月1日 ～ 令和8年3月31日			
実 施 場 所	城東公民館			
事 業 概 要	地区住民による地域活動の更なる活性化に向けたデジタル化推進の端緒として、地域連携や広報等で地区役員が利用できるパソコンの配備を行った。			
地 域 づ くり の 成 果 ・ 効 果	地区の各種事業を開催するにあたって、資料作成や打合せ等へ効果的に活用されることが期待できる。			
課 題	町会のデジタル化推進には欠かせない機器であるが、特定の地区役員の利用に偏らないようなルール作りが必要である。			
決 算 額	a+b+c	財 源 内 訳		
		a	b	c
	272,995円	172,737円	7,065円	93,193円

決 算 額 (計) (①+②+③)	A+B+C	財 源 内 訳		
		A	B	C
	600,258円	500,000円	7,065円	93,193円

A：各事業のaの合計額

B：各事業のbの合計額

C：各事業のcの合計額

(2) 本年度の積立実績の報告

事業名： 防災備品資金積立事業				
積立目的	地区防災備品として無線機14台の整備			
積立期間	令和5年度から令和10年度まで(本年度3年目)			
積立ての 目標金額	600,000円			
積立実績	区分		積立額	積立事業への 積立金充当額
	前年度 までの	1年目	100,000円	円
		2年目	100,000円	円
				差引累計
				100,000円
				200,000円

	積立経過	3年目	円	円	円
		4年目	円	円	円
		5年目	円	円	円
	本年度の積立実績		D 100,000円	E 円	F 300,000円
	合 計 額		300,000円	円	
本年度積立金を充当して実施した事業の概要					
実 施 主 体					
実施日(期間)					
実 施 場 所					
事 業 概 要					
地域づくりの 成果・効果					
決 算 額	E + G	財 源 内 訳			
		E	G		
充当後の積立事業取扱方針					
積立継続(R10年度まで)・ 廃止					
廃止する場合は、積立金残高(F)の処理方法					

E : 充当した積立金の額

G : その他の財源の額

(3) 本年度の交付金のうち、翌年度に繰り越す金額の報告

I - A - D	金 0円
-----------	------

[参考]繰越上限額 = $I \times 2 / 10$